

第4回 泉中学校統合準備委員会 会議録

日時	平成31年2月28日（金）19時00分～19時45分
場所	泉市民館 集会室
出席者	委員（22名） 山内敏久、石川 易、伊藤純夫、山田 稔、伊藤康弘、藤村孝男、平井則章、坂腰一輝、藤村明弘、下村友子、藤城孝行、玉越宏利、鈴木博好、河合良信、渡邊恵里、岩本吉幸、小久保浩明、立花英夫、山本忠史、鈴木 力、樽谷哲郎、森下しのぶ 事務局（11名） 花井教育長、宮川教育部長、伊藤教育総務課長、杉田学校教育課長、大羽企画部企画課長、永井渥美支所地域課長、荒木赤羽根市民センター所長、矢野学校教育課指導主事、小久保教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主任、藤井教育総務課技師
欠席者	太田優彦委員、吉田裕子委員、藤村浩仁委員、小原恵康委員、中村文紀委員
傍聴者	なし
	《資料確認》
事務局	配布資料の確認 ・次第 ・資料1 第4回学校運営部会報告 ・資料2 第2回PTA部会報告 ・参考1 学校運営部会・PTA部会での主な意見等の内容（抜粋） ・参考2 これまでの経緯について ・第3回泉中学校統合準備委員会会議録
	《開会》
事務局	ただいまから第4回泉中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 まず初めに、花井隆教育長からご挨拶を申し上げます。
教育長	みなさん、こんばんは。 今日は、2月の末日ですが、一日中雨ということで、2月を締めるのになかなか春を呼んで雨かなというふうにも思います。 各学校では、卒業式の準備ということで、特に中学校は3月5日。明日は高等学校の卒業式ということで、明日はいい天気になるかなと期待をしているわけですが、そんな形で、忙しくこの平成が通り過ぎようとしているなというふうに考えております。 伊良湖岬中学校のほうは、この3月14日に閉校式を行いまして、その後、福江中学校のほうへ入っていくというような段取りが今進んでおります。赤羽根中学校、泉中学校におきましても、本年度、さまざまな行事で交流をする中で、いろいろな成果が出てきたんではないかなというふうに感じております。 今日は、あと各部会のほうから、報告事項等がありますし、またみなさんのほう

	からいろいろな意見をいただけるといいかなと思います。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
事務局	それでは、議事のほうに入ってまいります。 ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条に基づき、委員長にお願いいたします。 よろしくお願いいたします。
委員長	みなさん、こんばんは。 お足元の悪い中、お仕事でお疲れの中、この委員会にお集りいただきまして、誠にありがとうございます。第4回の統合準備委員会ということで、よろしくお願いいたしますと思います。 今月は、みなさんご存じの豚コレラの関係で、大変な非常事態ということで、市の方々、本当にご苦労さまです。一発目が村松町地内で発生しまして、私どもの自治会及び校区で大きな動きがありました。それで、終わるかなと思った瞬間に、隣町ということで、いまだに終息宣言が出ておりませんので、危惧をしておるわけですが、その中で、いろいろな情報が飛び交っておりまして、なかなか私どものほうには情報が入ってきませんでした。そういったことも踏まえまして、今後、泉と赤羽根は一体になって情報交換していきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。 それでは、座って始めさせていただきます。 ここからは、私のほうで会議を進行させていただきますので、円滑な議事進行に皆様のご協力をお願いいたします。 今回は、学校運営部会と、PTA部会において、検討された事項につきましての報告を行ってまいります。 全体の流れを事務局から説明をお願いします。
事務局	委員長からもございましたとおり、今回の統合準備委員会では、前回以降に開催されました学校運営部会とPTA部会での検討事項につきまして、報告をさせていただきますものでございます。報告につきましては、学校運営部会及びPTA部会の部会長に説明をしていただきますので、説明の際、参考資料の1番につきましても、あわせて見比べながらご覧いただきますようお願いいたします。 私からは以上でございます。
委員長	それでは、まず学校運営部会につきまして、学校運営部会長から説明をお願いしたいと思います。お願いします。
学校運営部会長	それでは、お願いします。学校運営部会長、赤羽根中学校長の樽谷といいます。よろしくお願いいたします。 それでは、資料1をご覧ください。 学校運営部会の内容としては、両校で相談をして、調整したものがかなり多いです。その内容を報告させていただいて、あと意見をいただきました。 まず(1)教材ということですが、これはどういうことかといいますと、1年ご

	と、学年ごとに使う教科書ではなくて、副教材といいますか、ワークですとか、資料集ですとか、問題集とか、そういったものを購入するんですけども、1年生のときに買って、それを3年生までの3年間使うものがあります。統合したときに、その使っているものが違うと、授業も子どもも困るということで、来年度入学したときに、3年間使うものについては、両校同じものを注文するという事で、何を買うかということについては、各教科の担当で相談をして、これも決定をしました。 それから、統合したときに、泉中は学習したけど、赤羽根中はまだやっていないというのも問題ですので、2年生が終わるまでに、ここまでは進んでおこうという打ち合わせもしております。 それから、(2)の行事についてですが、まず一番大きいのが修学旅行を2学期に実施しようということで話を進めております。例年ですと、5月の上旬、ゴールデンウィークが終わってすぐに行っているわけですが、統合した年にその日程ですと、3年生は、同じクラスになったばかりで、そこから準備・打ち合わせ、計画を立てるというのは難しいですので、これは遅らせたほうがいいかなというふうに考えました。 それから、1学期は、どこの中学校もそうですが、赤羽根中もいろいろな行事・活動があるということで、慌ただしいので、11月、2学期に修学旅行をもっていきたいということで、準備を進めています。統合した年に、いきなり2学期にやるとなると、我々も見通しが立ちません。いつまでにどんな準備をやったらいいかということがわかりませんので、その前の年、平成32年度に赤羽根中が修学旅行を11月に行うというふうに進めております。11月に行くと文化祭等ありますので、その時期をどうするかということで、合唱祭のほうに近づけたらどうかということで、現在計画を立てております。 ②の1年生は入学して2週間ほどで、オリエンテーション合宿というのをやっております。これについても、青年の家の施設の関係ですとか、日程との関係もありますので、内容的には1日日程で、学校でも行えるということですので、宿泊せずの内容で計画ということで進めていきたいと思えます。 それから、③です。平成33年、統合した年からの長距離走駅伝大会をどうするか。今、合同でサンテパークでやっております。その前は、赤羽根中は表浜の砂浜の上を走っておりました。表浜に戻すか、あるいは別のいいところがあるかということで、これを少しずつ検討をしていくという予定でおります。 次に(3)の生活のきまりということで、①制服等については、平成35年度には原則揃えと。3学年とも統合後の入学になるため、この年に揃えられるのではないかなということです。それまでは、両校の制服、体操服等がまざっていても構わないということで、これは前回の準備委員会でも了承をいただいております。 ②生活のきまり全般についてということで、両校は生活のきまりが違う部分がありますので、これを統合していきなり泉中の子に、赤羽根中はこれだというわけにもいきませんので、両校で調整をして、生活のきまりを修正しました。
--	---

	統合した年からですと、さきほど言いました、泉の子はびっくりするという ことで、来年度から適用していくと。今、小学校6年生が入学したときからは、このル ールで適用して統合したときには、そのままルールを変えずに一緒にむかえるとい うことで、進めております。 それから、現在の1年生、2年生については、今まで指導されていた内容と変わ っていきますので、これについても、各学校で順次修正のほうを行っていくという 予定でおります。というような内容を部会のほうで報告説明をさせていただきました。 もし、ここまでで何かご意見等があればと思いますので、よろしくお願いします。
委員長	ありがとうございました。 ただいま学校運営部会長から説明がありましたので、委員の皆さん、ご質問、ご 意見等がありましたら。
委員	よろしいですか。
委員長	はい。
委員	生活のきまり全般についてのところで、お尋ねをしたいんですが、生活のきまり を修正したというようなことが書かれておりまして、説明もありましたけれども、 この件につきましては、教職員で修正をしていったという理解でよろしいですか。
学校運営部会長	はい、そうですね。
委員	これは、生徒は関わっていないと。
学校運営部会長	生徒は関わってないですね。ただ、生徒のほうからは、ここは変えて欲しいとい う声は出ていましたので、それも含めて、両校の担当で修正しました。
委員	個人的に思うのは、やはりこの統合というのは、大人の分別ではなくて、やっぱ り生徒ありきの統合というのが根底になくてはいかんだろうと思うわけで、例えば、 特に子どもたちが、生活に直接関わるきまりのようなものについては、今、校長先 生が、生徒の考えを聞きながらということをしていただけたので、ちょっとほっ としたわけですが、やはり自分たちの生活のきまりをつくるということは、 自分たちで確認しながら、統一的につくってそれを守っていこうと、やっぱり自主 的な考え方のもとにやっていく必要があるんじゃないかなと。そうすれば、自立の 心が当然育まれますし、やっぱりそれがどの子も大事にした統合ということにつな がっていくんじゃないかなと思うんで、今後ちょっとそのあたりを検討していただ けるといいかなと思いました。 以上です。
委員長	答えは、いいですか。
委員	はい。要望ですから。
委員長	ほかにございませんか。よろしいですかね。
事務局	いいですか。
委員長	はい、どうぞ。
事務局	1点、補足でお願いします。参考資料1に、学校運営部会とPTA部会でのいろ

	いろいろな意見が出ているところを抜粋させていただいています。 特に、保護者の方も気になるところということで、今後検討していく材料ですが、真ん中にあります携帯電話についてというところも質問がございました。今、赤羽根中学校では、一応持ってこないという指導をしていますので、その辺についてもお話もありました。今後についてはというお話もありましたが、伊良湖岬中学校と福江中学校の統合が間もなく、この4月に行われます。そのときの様子も見ながら、今後どうしていくのかというのを改めて検討するというお話もありましたので、補足をさせていただきます。 以上です。
委員長	ほかにございませんか。よろしいですか。 それでは、次にPTA部会について、PTA部会長から説明をお願いしたいと思います。
PTA部会長	それでは続けてお願いをします。 資料2をご覧ください。PTA部会ということで、まずはPTAの組織づくり、これを進めていかないといけないということで、以下の3点。特にPTA理事、委員の総数。それから、会長、副会長の分担。それから、書記・会計等の役員の割り振り。これを早目に決めて、地区での委員の推薦等に伝えていくということで、来年度の11月までには決めないといけないとは思っております。 原案として、次のような提案をさせてもらいました。まず、役員、理事、委員の総数ということで、統合しても200名少し超える程度ということで、統合したから委員の数を増やせばいいというわけにもいかず、そうすると、あとあと苦しくなるんじゃないかということで、現在、赤羽根中学校が21名、それから泉中学校が15名で、PTAの運営をしております。ただ、両校の事業、PTAの活動内容を比較したところ、ほぼ同じようなことですので、最大赤羽根中の21名いれば、十分に対応できるというふうに思います。 それで、昨年度のPTA部会で、一応たたき台案として、赤羽根中12名、泉中9名、この合計21名、これで提案をしたところ、それでいいのではないかとこのころまで話はいきました。 ただ、またもう一度部会員の方もわかりましたので、それをもとに、それぞれの学校で考えてもらうということで、まだ全部ではないですが、意見が集まったところを見ますと、12名、9名はちょっと苦しいんじゃないかということで、赤羽根中11名、泉中7名、会長は別で1名出すということで、合計19名ぐらいがいいんじゃないかなという意見が出ております。ということで、この合計19名をもとに、原案をつくりまして、来年度早期に決めていきたいなというふうに思っております。 それから、PTA会長、副会長をどうするかということで、一応、今出ている意見としては、4つの小学校区で順番に担当していくのがいいんじゃないかということです。一応、33年からのを、その案でいきますと、各学校1、2、3、4と番号をつけると、その順番に回していくのがいいんじゃないかということです。これ

	を見てもらいますと、4年に1回、会長、副会長がいない小学校区もくるというところですよ。 それから、ほかの案としては、泉中、赤羽根中、交互に会長候補を出してはどうかという案も提案させてもらいましたが、今のところ、4小学校区の順番がいいんじゃないかというところですよ。 それで、会長をどういうふうに分担していくかというのが、市P連の役員のローテーションにも関わります。ということで、一枚めくってください。そこに、市Pの会長とありますが、その欄を横に見ていくと、C B A C B Aとありますが、これは、市内の小中学校がA B Cの3ブロックに分かれています。赤羽根中はBブロックに入っております。市P連の会長が、ブロックごと、順番に回ってくる。だから、3年に1回、Bブロックにくるということで、その順番になっています。Bブロックというのが、今のところ東部中校区と赤羽根中校区の学校ですので、大体東部中校区と赤羽根中校区で交互にBブロックの代表を出しているようですので、そうすると、35年、41年あたりに、市P連の会長がくるんじゃないかというような予測です。それで、4小学校で順番に回すという案でいきますと、同じ小学校から市P連の会長が出るということも多分防げるのではないかなというふうに思っています。 それから、その下に、今度、女性の代表も、この市P連に関わってくるということで、市の女性部長になるのが、同じようにブロックで順番に回っています。今、Bブロックのほうで、東部中校区と赤羽根中校区で1年おきに代表を出すというふうになっています。東部中のほうは、関係のある小中学校で順番に回しているようですが、赤羽根中のほうは、はっきりしたところはわかりませんが、何となく赤羽根中から出しているとなってますので、そうすると2年に1回、赤羽根中から女性の副会長はBブロックの代表として出ていかないといけないということで、そうすると、市P連の役員も当たる可能性が高いということで、この辺もちょっと見直しが必要かなとは思いますが、そういったところも考えて、4小学校区で回っていくのがいいんじゃないかなというところですよ。 それから、あと（3）の会長以外の役員を割り振るということで、書記が男女各1名ですとか、会計が1名、会計監査1名、それから支部長、赤羽根中のほうは支部長という役がありまして、各小学校区のまとめ役という、そういう方を置いておりますので、それが各小学校1名で計4名というような役員の人数の案です。 これをどうするかについては、会長のローテーションというか、担当が決まらないといけませんので、それを決めて、立案をしていこうかなと思っています。 それから、各委員会ですけれども、これも理事の数とそれから会長担当案を受けてということなんですが、一応、委員会数のほうは、4を提案したいと思っております。赤羽根中が4つで、泉中が2つ委員会を設置しておりますが、それぞれ活動内容は、ほぼ同じです。1つの委員会が担当するのを少なくするには、幾つかに分けたほうがいいかなということで、4つではどうかと。それから、人数割については、会長以外の全員を委員に割り振ると。あと、委員長については、両校が1年お
--	--

	き、あるいは委員の中で互選になるのかなというふうには思っております。 今後の検討課題ということで、会則、規約、当然、両校で違う部分がありますので、そこはどうするか。それと②の会計ですが、支出内容は、ほぼ同じです。会費については、会員数の違いもあるものですから、赤羽根中が年間3,000円、泉中が3,600円ということで、この会費の違い等もどうしていくかというのも後検討が必要です。 あと、事業内容とその計画についてですが、大まかなものは、ほぼ違いはありませんが、泉地区の運動会への参加をどうするかとか、それから、あとPTA作業の時期、これが両校は違いました。あと、文化祭への参加の仕方。これも泉中のほうは、屋台をやっておりますし、それから赤羽根中のほうは、文化体験交流ということで、生徒に混ざって、いろいろなフラワーアレンジメントとか、そんなことをやっております。 それから、理事会の時期等も違いますので、こういったこともどうしていくかということです。いずれにしろ、組織をつくらないことには、細かいことも決めていけませんので、この組織等も、理事の数、会長、副会長の担当をどうするかということで、今、各校で集まってもらって、検討してくださいということで、案を出している状態です。ということで、またここでいろいろなご意見があれば、いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。
委員長	ありがとうございました。 PTA部会長から説明がありました。ご質問、ご意見等、ございましたら。
委員	細かいことで申し訳ないです。1の組織づくりの原案ですが、役員数が、昨年度の部会では、一応、赤羽根中12、泉中9名の21名。本年度は、それではちょっと少ないんじゃないかなというような意見もある中で、あえて逆に2名減らしたというのは、何かあるんですか。
PTA部会長	昨年度、第一回目の検討部会ということで、一応たたき台で、12と9でどうかということで終わったんですが、それで、今年度も、一応去年はこれでいいののではないかという意見がありましたということで、投げかけまして、全部はまだ集約はできておりませんが、意見をくれたところでは。
委員	総合的に考えて、19であれば。
PTA部会長	要は、子供の数も減っていますので、委員を出す上で、少なくするのは出しやすいに決まっているんですけども、11と7ぐらいかなという意見はありました。
委員	はい、わかりました。
PTA部会長	PTAの活動で一番困るのは、懇親のソフトバレーボール大会があるものですから、2チーム出すとなると、やっぱりここまで。これ以上減らすというのは厳しいかなと思っておりますが、まあ、その辺を。
委員	19名だったらどうかなと。
PTA部会長	はい。
委員長	よろしいですか。

委員	はい。
委員長	ほかにございませんか。 はい、どうぞ。
委員	泉地区の運動会云々とありますけれども、僕も泉で、ほかの地区は知らないんですけれども、赤羽根中学は運動会とかいうのはそういうのはどうですか。
P T A 部会長	中学校の体育大会には、P T Aの方が来てもらって。
委員	中学校は体育大会ということですか。
P T A 部会長	はい。木曜日ですけど。
委員	例えば、ここに泉地区の運動会と書いてありますけれども、では、統合になったときには、新しい中学校で体育大会をやって、泉地区に関しては、今までどおりの、小学校・中学校・保育園の運動会に参加するかどうかというようなことを、うたっているわけですか。泉地区の運動会と書いてあるところ。
P T A 部会長	統合すると赤羽根中として体育大会をやるものですから、生徒は当然そちらへ出ますけれども、例えば、今、泉地区は、小・中合同でやっているじゃないですか。そこで、もし、中学生を出せとなったときに、例えばP T Aさんも応援してねというようなになったときに、では、赤羽根のほうのP T Aさんはどうするかなとか、あるいは生徒、中学生をどういう扱いで参加するかというようなことがあるんじゃないかなということ。
委員長	いいですか。 私があまり言うてはいけないけれども、今、考えているのは、統合して33年の5月に、今までどおりの運動会をやって、中学生がいなくなるということで、この泉校区から赤羽根中学に通っている中学生については、地域として参加していただくかなという方向で今調整をしているところです。 その中で、赤羽根中学校の中学生が参加しては困るということではないとは思いますが。同じ中学校の子が出ていただければいいかなというような気はしていますけれども、その辺はまだ、泉小・泉中と調整中ですので、それで決定ではないので、お含みおきをいただきたい。 ほかにございませんか。
P T A 部会長	私が聞いてはいけないんですけれども、これは、部会のときは、P T A関係の方が多かったですけど、今日は自治会の方がみえますので、例えば、中学校のP T A会長の充て職というのですか、小中学校のP T A会長になったら、この役にとか、P T A委員にこれだけポストがあって、こんなに減らされたら困るとか。大体は、各小学校のP T Aと連結していると思うものですから、そう大きな影響はないのかなとは思ってますけれども、その辺の、もしわかることがございましたら。
委員長	調整はしていないので。
委員	今年で言いますと、泉同窓会というのに参加はさせていただきましたけれども、それは、泉中学校P T A会長として出ましたので、そこは、中学校のP T A会長っていうのがなくなってしまうのは、ひとつあるかなとは思いますが。

	そのほかは、市民館まつりのお手伝いというか参加も、一応中学校のPTA会長という肩書で参加させていただいていました。そのぐらいかなと思いますが。
委員長	その辺やっぱ、この泉校区に住んでいる中学生という形で参加してもらう行事がたくさん出てくる。それに対して、保護者が出たいというのは、拒むではないと。そんな考えていきたいなと思うんですが。まあ時間があってないような。なかなかこんなことでよろしいでしょうか。 ほかにございませんか。
委員	ちょっといいですか。先ほど、中学校のPTA会長が同窓会と言われましたけれども、またこれで年度が変わって、5月でしたか、同窓会をやるのは。その席で今後どうするかという話は、出していただければいいと思うし、泉の市民館まつりのときは、PTA会長ということでお願いしていたんですけども、今後は、この市民館、また年度も新たに今決めるっていうんじゃないなくても、すぐにもう対応しながら考えていったほうが、校区のことは校区で、そういうことは話しながら、早目に決めたほうがいいと思いますね。
委員	そうですね。
委員長	ほかにございませんか。 なければ、以上、これまでの協議結果についてご報告がありました。 全体を通して、何か、これは聞いておきたいというのがありましたらお願いします。 ほかにございませんか。
委員	1つ。今後こういう委員というのは、年度が変わればまた変わりますか。
委員長	はい、変わります。
事務局	はい。その他のところで、お話をさせてもらおうかと思いました。すみません。
委員長	ございませんか。
	《その他》
委員長	それでは、「その他」に入ります。 事務局から何か連絡事項等ございますでしょうか。
事務局	はい。それでは、事務局から1点お願いいたします。先ほども、ご質問いただきましたが、今年度の統合準備委員会の開催につきましては、本日が最後となります。来年度も、今から検討していくことに向けまして、引き続き統合に向けた準備、それから検討、調整等は諮っていくわけですが、これで年度末を迎えますので、各校区におきましては、役員の改選、それから先生方におかれましては、異動の時期となりますので、役員の半数以上の方が交代となります。この1年間、本当にありがとうございました。前PTA会長につきましては、2年間ということで、ありがとうございました。 それに伴いまして、次回の統合準備委員会の開催時期につきましては、役員交代の確認を行った上で、こちらの事務局のほうから、委員の委嘱をさせていただきますので、開催時期としては、おそらく6月ごろになるかと思います。

	なお、昨年同様、小中学校のPTA会長につきましては、もう1年お残りいただきまして、これまでの流れを知っている者としまして、新委員さんへの助言者にもなっていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 また、泉校区につきましては、会長のほうが自治会のほうの役員を調整していただけだと思いますので、その辺につきましても、ひとつよろしくお願いいたします。 事務局としましては以上です。
委員長	はい、ありがとうございます。
委員	すみません。
委員長	はい、どうぞ
委員	質問ですけれども、総務部会ですが、同窓会の関係で、赤羽根中学校の同窓会、泉中学校の同窓会という形で考えていくんですけれども、同窓会関係の委員が総務部会にはいないんですが、どのようにやればいいですか。
事務局	各部会のほうで検討していくときに、そういった関係される方を招集といいます。が、お呼びしていただいて、その中で意見をいただく方という形で、それは大いに構いません。アドバイザーという形で結構ですし、検討部会の中に、意見者として、当然、同窓会の会長とかは、意見が必要になる場合がありますので、それは構いませんので、よろしくお願いいたします。
委員	統合準備委員としては、あげないというか。
事務局	来年度の統合準備委員会の組織として、委員の委嘱をしていきますので、その中に、その総務部会の中にアドバイザーとして入れるか、統合準備委員会の委員として入れるかというところで、また調整させていただきますが、委員の数が一応30人以内と決まっている関係もありまして、今年度中も、お話の中でまた意見もあったのが、その部会の中に例えば、高松・赤羽根・若戸の小学校の校長先生も入れたらどうという話もありますので、その辺も部会で対応するのかというところも調整をしていきます。
委員長	ほかにございますか。
委員	すみません。同窓会というのは、例えば、泉は全部、今まで小中一緒だったのだけど、赤羽根の場合、中学校の同窓会と各小学校の同窓会というのはあるんですか。例えば、泉の小学校の同窓会と今度大きい中学校の同窓会ということになるんですかね。
委員	その辺も調整ですけれども、統合して、赤羽根中に在籍した生徒については、赤羽根中の同窓会に入ってもらおうという形になると思います。
委員長	いいですか。 なければ、以上を持ちまして、第4回泉中学校統合準備委員会を閉会とさせていただきます。 事務局のほうは、4月1日で、岬中学と福江中学が統合します。その、いろんな情報をできるだけ早く我々に示していただきたい。非常にみなさん関心があると思いますので。今までの、野田中の資料というのが、なかなか回ってこなかったのを、

	今回は早目早目によろしくお願いしたいと思います。
事務局	はい、わかりました。
委員長	それでは、これで閉会といたします。お疲れさまでした。